

## 海軍燃料沿革

### 緒言

一、本沿革ハ明治初年海軍省設立以來大体大正末期ニ至ル期間海軍省又ハ海軍艦政本部等海軍ノ中央部ニ於テ處理セル燃料關係要務ヲ沿革的ニ記述スルヲ主眼トシ地方ノ各事業廳ニ關シテハ右中央部ノ沿革上密接ノ關係アルモノニ付略述スルニ止メタリ蓋シ各事業廳ニ於ケル實地ノ狀況等ニ關シテハ既ニ當該各廳ニ於テ其ノ一般沿革ヲ編纂セラレアルヲ以テナリ

二、戰時ニ於ケル燃料ノ調達供給ハ最重要ノ行務タリ而モ本沿革ニ於テハ概ネ之ヲ省略セリ蓋シ是等要務ノ計畫實施ニ關シテハ既ニ當該戰史ニ於テ詳細記載セラレアルノミナラズ今日ニ於テハ編纂資料タルベキ關係文書ノ蒐集困難ニシテ到底戰史ノ記述ニ及ビ難シト認メタルヲ以テナリ

三、本沿革ハ凡テ海軍保存ノ文書ニ基キ編纂スルヲ旨トセルモ實際ニ當リ右文書ノ發見困難ナルモノ少カラズ依テ念ノ爲既往各時代ニ於テ燃料關係ノ職ニ在リタル武田海軍中將(秀雄)市川海軍中將(清次郎)山口海軍中將(銳)中里海軍中將(重次)宮本機關大佐(雄助)等諸官ニ就

キ得タル談話、手記等ヲモ資料トセリ而シテ是等海軍文書以外ノ資料ニ依リタル場合ハ概ネ其ノ旨ヲ註記セリ

四、本沿革中ニ採用シ又ハ編纂上ノ參考トセル公文書ニ付テハ後日其ノ所在ヲ知ルニ便ナラシムル爲「燃料關係文書部門別年代順件名簿」ヲ調製シテ附録トセリ

尙本編纂ノ範圍ヲ大体大正末期迄トセルハ編者ガ大正五年以降大正十四年三月離現役マデ本省又ハ地方ニ於テ概ネ燃料關係ノ勤務ニ服シアリシ關係上此期間ノ事項ニ付テハ相當記憶ノ存スルアリテ編纂上ノ便宜モ尠カラザルニ比シ離現役後ノ事ニ付テハ全然部内ノ實情ニ暗ク關係文書ノ搜索蒐集ニモ自信ヲ得ザリシヲ以テナリ從テ本沿革中大正十四、五年頃ノ記事ニ就テハ後年此ノ續編ヲ編纂セラル、場合ノ補遺ニ俟ツ次第ナリ

昭和十年九月

海軍省囑託 眞木俊魁

## 第一編 海軍炭山 (長門平壤兩炭山ハ第二編ニ入ル)

### 目次

第一章 海軍炭山ノ創始 唐津海軍出張所(唐津海軍用所)	一頁
第二章 福岡縣海軍炭山	二
第一節 福岡縣海軍炭山設定及新原探炭所設立	二
第二節 新原(海軍)探炭所概況及新原炭山	三
第三節 御徳炭山 漆生炭山	五
第三章 臺灣海軍炭山	六
第四章 炭山雜件	六
第一節 官業整理ト海軍探炭所	六
第二節 佐世保炭田調査	八
第三節 海軍探炭所ト博多灣鐵道	九

(終)